



NPO法人ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

場所 フィリピン共和国・カオハガン島

期間 2015年11月19日～11月23日

参加メンバー

(上段左から) 三上、久保田、神田、矢沢、小西、大森、遠藤、大西、倉橋、沢田

(下段左から) 垣内、大澤、坂口、伊藤、井口

(敬称略)



活動内容

11月19日（木曜日）

今回の活動は関西国際空港から9名、成田空港から3名、前泊組3名の計15名参加、
(歯科医師7人、歯科衛生士8人)

19:30頃 セブのマクタン空港にて関西組、関東組、お迎えに来てくれたトッペルや、よしえさん達と合流し車と船を乗り継ぎカオハガン島に向けて出発した。

船のエンジンがストップして途中30分ほど荷物を積んだ船に引っ張ってもらおうというトラブルもありながら、その後エンジンが復活し無事カオハガン島まで到着することができた。

22:30頃 前泊組が夕飯を食べずに待っていてくれたので、みんなで夕食を食べ前泊組の本日の活動内容を聞き、明日からのミーティングを行い24:30消灯となり就寝。



11月20日（金曜日）

沢田先生は早朝からセブの学校の先生とのミーティングのためセブにお出かけ、残りメンバーで9:00から手分けして、診療準備にとりかかる。

前泊組が診療準備を行っていてくれたためスムーズに診療に入ることができた。

早朝より、沢山の島民がバランガイホールに集まってくれていた。

今回は初の試みとして大澤先生が持参してくれたレントゲンが新アイテムとして投入された。

午後には島主の崎山さんの抜歯を沢田先生が行ったり、力水（カラマンシージュース）が届けられたり和やかな治療となった。

この時点で2月の義歯の予約が一杯になっていた。

夜にマンゴーパーティーを開催。マンゴーをそのまま丸かじりという贅沢な食べ方で、とても甘くておいしいマンゴーでした。



11月21日（土曜日）

ラプラブで大きなお祭りがあり学校が休みとなっていたため学校健診が行えていなかった。そのため、島民にお願いして子供たちに学校に集まるように放送をしてもらったが、学校に行ってみると子供たちは誰も集まっておらず残念ながら今回学校健診は中止となった。前泊組おかげで小学生の24人は19日に健診できた。

夜のミーティングでは治療中の椅子がやりづらいので、完全に横に寝かせるのはどうか。鉗子やバーの種類のリスト化などについて活発な意見交換が行われた。

この日の夜はたこ焼きパーティー開催。炭火で焼きたこ焼きは格段のおいしさです。また手慣れたピック捌きは関西ならではの熟練された技でした。



11月22日（日曜日）

10時まで診療を行いその後は機材の梱包、在庫チェックを行い予定通り昼前にすべて終了。

昼食後はフリータイムで、シュノーケルに行ったり、マッサージを受けたり各自のんびりと過ごした。

15時から恒例の運動会。リレー、飴食い、玉入れ、綱引きを行った。

玉入れでは籠支え役の大澤先生が籠を持って走り回り玉を入れさせないという斬新なアイディアで大爆笑となった。



11月23日（月曜日）

早朝の飛行機のためAM2時起床で島を出発。3日間夜は少し雲が出ていたのであまり見られなかった星空が、最後の夜は満天の星空とはこれを言うのかといわんばかりの、ものすごい星の量に圧倒されながらの出発となった。帰りは船のトラブルはなく無事セブの空港に到着。全員で朝ご飯を食べ、関西組、関東組に分かれ帰国した。

総括

リーダーの総評

沢田 宗久

11月19日～23日までフィリピン・カオハガン島に於いて歯科医療奉仕活動を行ないました。

今回は歯科医師7名、衛生士8名、総勢15名で活動しました。

前日18日から、伊藤、小西、倉橋の3名が先発隊として前準備を兼ねて現地入りし、小学校の検診や、歯科器材の準備も行なっていたので20日からの診療はとてもスムーズに行うことが出来ました。

私は、20日早朝から、崎山さんと一緒にセブの歯科大学に行き、カオハガン島民のエッジ・ナノイの歯科大学の進級のことで、大学歯学部、部長さんとお会いして、エッジの現状をお聞きして、今後どうするかを話し合いました。

その後カオハガンに帰り、すぐに治療にとりかかりました。

今回のミッションは、ベテランのドクターが多く参加して頂いていたので比較的スムーズに診療を行うことができました。

ラプラプ市の島々から多くの患者様が治療に来ていたので、来年のデンチャー予約もすぐに詰まりました。

11月のこの時期はフェスティバルが多くあるので、島民や子ども達がセブに出かけていて、小学校も休校になっており、検診ができなかったのも、崎山さんと皆で村に居る小学生を集めて、バラングイホールで検診並びに治療を行いました。

今回は、大澤先生が持参して下さった、ポータブルレントゲンが大変有効で役に立ったのですが、使用中何らかの原因で使用不能になったのが、とても残念でした。

天候はエルニーニョの関係で、晴天続きで約3ヶ月間雨が降っていなく、島民達は水を他の島々から買って来ているので、参加者全員に節水を呼びかけました。

関空からの直行便が再開したので、往復の飛行機は大変楽になりました。

又、荷物の一人当たりの規制が、2個のケースで43キロまで緩和されたので、歯材やドネーショングッズを沢山持っていけるようになった反面、税関の申告が厳しくなってきたので、次回から事前のチェックが必要となりました。

今回は、初参加のメンバーが多かったので、診療後の島民、子ども達との恒例の大運動会は大変盛り上がり、お互いの労をねぎらい、ミッションを無事終えることが出来ました。

